

たまっこ通信 第2号

令和5年1月13日発行
石川支援学校たまかわ校
地域支援センターたまっこ



たまかわ校マスコット
ありす&りすた

明けましておめでとうございます。今年も地域支援センターたまっこをよろしくお願いいたします。

1月6日（金）に近隣の学校の先生方を交えて「第2回地域の学習会」を開催しました。今回のテーマは「コミュニケーションに課題のある児童生徒への支援について」です。支援が必要な児童生徒の見方について「冰山モデル」を参考に共通理解を図り、事前に挙げて頂いた事例をもとに検討会を行いました。前回と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ズームを活用して2グループに分かれ、密にならない工夫をしながら行いました。会の最後には、地域支援アドバイザー小河原健一先生より総評をいただき、貴重な時間となりました。参加された先生方からは、「事例をもとにたくさんの支援策を知ることができた。」「多くの視点があり、自分では気付かなかった点に気付くことができた。」などの感想が寄せられました。

テーマ：コミュニケーションの課題のある児童生徒への支援について



事例1「思ったことを何でも言ってしまう児童の支援について」

〈 背景や気持ち 〉

- 相手の気持ちを考えることが難しいかな？
- 話をしたい衝動が抑えられないのかな？
- 話をしてもいいことの判断が未熟かな？
- 人との距離感をつかむことが苦手？…など。



〈 具体的な支援策 〉

- 言葉に応じた表情カードで、視覚的に相手の気持ちを伝える。
- 好ましくない言葉を使った時、「〇〇するといいいね。」など肯定的な言い方を伝える。
- 良い関わりが見られたら褒める…など。

事例2「友達へ乱暴な言動をする生徒の支援について」

〈 背景や気持ち 〉

- 満たされない気持ちがあるのかな？
- 気持ちのコントロールが難しいのかな？
- 自己肯定感の低さが関係するのかな？
- 不安やストレスがあるのかな？…など。



〈 具体的な支援策 〉

- 自分の居場所や存在価値を自覚することができるようにする。（役割・活躍できる場）
- 自信をつけるための支援。できる、分かる、の積み重ね。
- できない、分からない時どうすればよいかの伝え方…など。